

愛知県感染症情報

平成 14 年第 28 週（7 月第 2 週）

< コメント >

手足口病^{*1}、**ヘルパンギナ**^{*2} は 6～7 月にかけて流行の山がみられる [夏のウイルス感染症](#) です。定点当たりの報告数は手足口病が 3.1（先週 2.9）、ヘルパンギナが 5.3（先週 4.0）と更に目立ってきました。

咽頭結膜熱^{*3} の定点当たりの報告数も 0.26（先週 0.12）と増加していますので、注意して下さい。

定点の先生方からのコメント上ではヘルパンギナ、手足口病の発生報告が、西三河地区では特に **カンピロバクタ**^{*4} の発生報告が多くみられます。

無菌性髄膜炎^{*5} については、今回基幹定点からの患者報告はありませんでしたが、全国的にも例年同時期に比べ約 3 倍の報告数（全国状況 26 週）となっております。特に現在、愛知県を始めとした全国で大規模な流行が恐れられている [エコ-13 型ウイルス](#) による無菌性髄膜炎では、ほとんどの県民がこのウイルスに対する抗体を持っていないことから、新生児から大人まで全ての年齢層での感染が予想され注意が必要です。

麻疹（はしか）の定点当たりの報告数は 0.19 と先週（0.16）に比べやや増加しました。引き続き注意して下さい。

感染症についての説明及びグラフ総覧については、
愛知県衛生研究所のホームページ

（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>）をご覧ください。

*1 手足口病：夏かぜウイルスの飛沫、経口、水疱からの感染。

口の中、手や足の先の水胞性発疹。

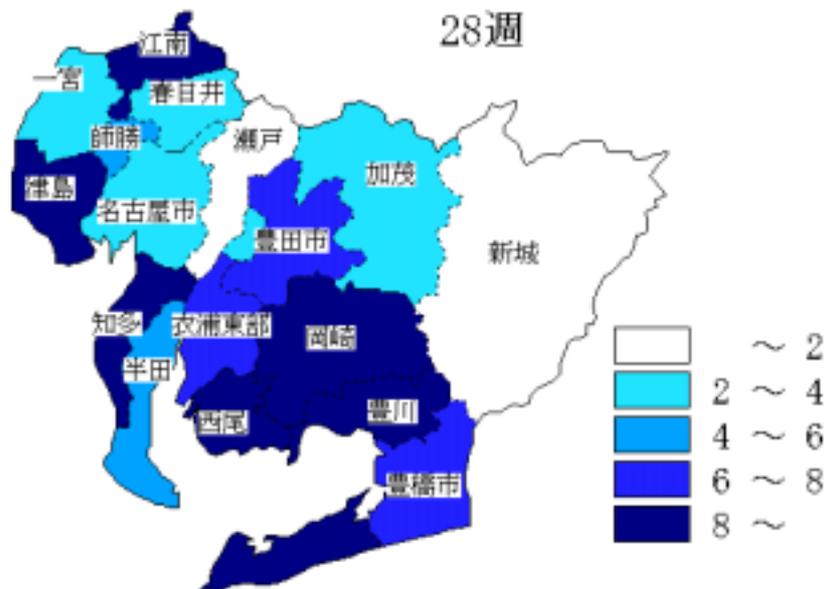
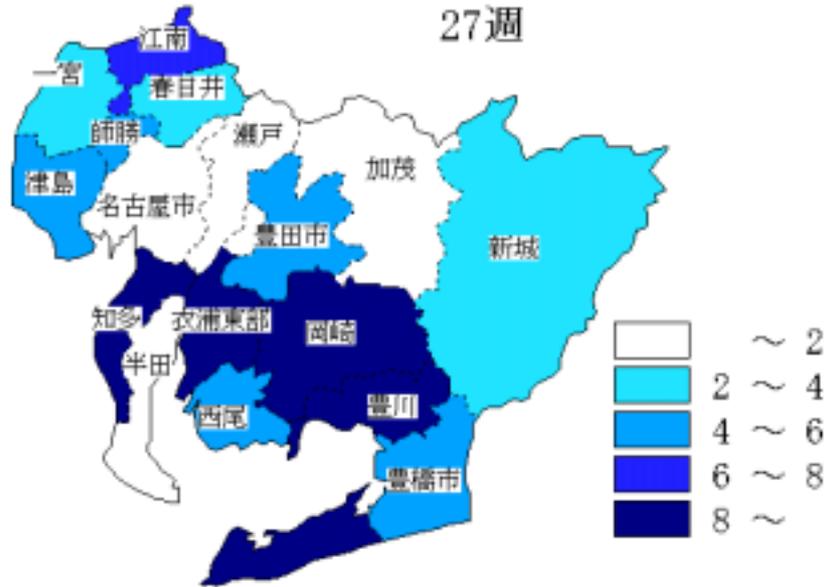
*2 ヘルパンギナ：夏かぜの一つ。咽頭に赤いリングの小水疱と浅い潰瘍。

*3 咽頭結膜熱：発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症。

*4 カンピロバクタ：食中毒原因細菌の 1 つ。

*5 無菌性髄膜炎：細菌以外のウイルス等による髄膜炎のこと。

ヘルパンギーナの保健所別推移（名古屋市含む）



	28週	定点 当たり	27週	定点 当たり		28週	定点 当たり	27週	定点 当たり
名古屋市	174	2.49	128	1.83	岡崎	85	10.63	66	8.25
瀬戸	14	1.56	11	1.22	衣浦東部	83	7.55	89	8.09
津島	66	9.43	35	5.00	西尾	51	12.75	23	5.75
師勝	21	5.25	22	5.50	豊田市	58	7.25	39	4.88
一宮	39	3.25	45	3.75	加茂	7	2.33	5	1.67
春日井	35	3.89	23	2.56	豊橋市	49	6.13	34	4.25
江南	77	12.83	42	7.00	豊川	110	13.75	95	11.88
半田	25	4.17	10	1.67	新城	3	1.50	5	2.50
知多	67	9.57	66	9.43					

■ は今週警報が発生している保健所です。

ヘルパンギーナの流行発生警報は定点当たり 6.0 を越えた場合に発生します。

< 定点の先生方からのコメント >

- 尾張西部地区
 - ・ O18 12歳男1名
EBウイルスの患者が又出てきました。
39度以上の発熱、扁桃肥大がありCRPも高値です。
異型麻疹が出ています。
(尾西市 城後小児科)
 - ・ 無菌性髄膜炎、5人。2歳~29歳です。
ヘルパンギーナ、多発しています。
手足口病も多発するも、口内所見は軽いようです。
(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)
 - ・ ヘルパンギーナがみられるようになりました。
(江南市 みやぐちこどもクリニック)
 - ・ 1歳女2人、3歳女1人 ヘルパンギーナ、少しずつ増えています。
感染性胃腸炎相変わらず多いです。
(稲沢市 医療法人野村整形外科)
 - ・ ヘルパンギーナ多発しております。
(春日町 丹羽医院)
 - ・ 強い頭痛を伴う熱発者多い。
(新川町 三輪医院)
 - ・ 26歳男 髄膜炎 名古屋市立城北病院へ入院。
(師勝町 田中クリニック)

- 尾張東部地区
 - ・ 溶連菌感染症は多く、マイコプラズマ感染を含めて肺炎も多くみられます。
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
 - ・ 手足口病少し落ち着きましたが、今週からヘルパンギーナが目立ちます。水痘、流行性耳下腺炎散発。
その他目立った感染症ありません。
(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)
 - ・ 18歳男 *Campylobacter jejuni*
27歳男 病原性大腸菌O18、33歳男 病原性大腸菌O1
先週報告例の66歳男 病原性大腸菌O128はVT1(-)、VT2(-)
(豊明市 豊明団地診療所)
 - ・ 水痘 散発
(南知多町 医療法人大岩医院)

- ・ 手足口病の流行つづいています。
無菌性髄膜炎らしきものありません。
(春日井市 朝宮こどもクリニック)
- 西三河地区
 - ・ 10歳男 水痘 ワクチン接種歴あり。非定型(2週前に弟が発症)
(岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院)
 - ・ 1歳男 カンピロバクター
1歳男 病原性大腸菌O18 カンピロバクター
(岡崎市 花田こどもクリニック)
 - ・ 11歳男 病原性大腸菌O125 VT(-)
7歳男 カンピロバクター、8歳女 病原性大腸菌O6 VT(-)
(岡崎市 にいのみ小児科)
 - ・ 7歳男、9歳男 マイコプラズマ肺炎
ヘルパンギーナ、水痘が多い
(岡崎市 医療法人川島小児科水野医院)
 - ・ 2歳女 カンピロバクター
5歳男 カンピロバクター+病原大腸菌O1、2歳男 伝染性単核症
(幸田町 とみた小児科)
 - ・ ヘルパンギーナ 流行
麻疹1名 1歳10ヵ月女 ワクチン**未接種**
(碧南市 永井小児クリニック)
 - ・ ヘルパンギーナの流行が続いています。
(刈谷市 まついこどもクリニック)
 - ・ カンピロバクター腸炎7歳女
(西尾市 やすい小児科)
 - ・ カンピロバクター腸炎4歳女
(西尾市 山岸クリニック)
 - ・ ムンプスの流行の上にヘルパンギーナ、手足口病が増えてきました。
(三好町 三好町立三好病院)

- 東三河地区
 - ・ 8 ヲ月女 *E.coli* O6、10 ヲ月男 *E.coli* O1
15 歳女 *E.coli* O63 いずれも経過は良好です。
(田原町 かわせ小児科)

< 1 ~ 3 類感染症の発生状況 >

- 細菌性赤痢
 - ・ 豊田市保健所から報告の 55 歳女。7/3 発病、7/5 初診、
7/9 診定。菌型はゾンネ。感染経路不明。
- 腸管出血性大腸菌感染症
 - ・ 岡崎保健所から報告の 59 歳女。6/28 発病、7/2 初診、
7/6 診定。菌型は O157 VT2 (+)
 - ・ 春日井保健所から報告の 3 歳女。7/1 発病、7/4 初診、
7/8 診定。菌型は O157 VT1 (+)、VT2 (+)

< 全数把握の 4 類感染症の発生状況 >

- アメ - バ赤痢患者 1 名
- 急性ウイルス性肝炎 (A 型) 患者 1 名
- ジアルジア症 *6 患者 1 名 複数の渡航歴あり。

* 6 ジアルジア症 : 主に発展途上国からの帰国者等に発生し、下痢や嘔吐等の消化器系の症状が主体となる。ランブル鞭毛虫 (原虫の一種) が原因で、食べ物や水などから経口感染する。

第 26 週 (14 年 6 月 24 日 ~ 6 月 30 日) の 4 類感染症の全国状況

定点把握の対象となる 4 類感染症 (週報対象のもの)

無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は前週に引き続き増加しており、1999 ~ 2001 年同週の平均の約 3 倍の報告数となっている。都道府県別では福井県 (2.5)、岡山県 (2.5)、滋賀県 (2.3) からの報告が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は今週わずかながら増加へ転じ、過去 5 年間の同時期と比べてもやや多く、都道府県別では宮城県 (7.8)、三重県 (6.5)、宮崎県 (6.5) からの報告数が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数も過去 5 年間の同時期と比べてやや多くなっている。他の疾患の定点当たり報告数は、過去 5 年間の同時期と比べて特別多くなっているはいない。しかし、ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、例年通り急速な立ち上がりを見せており、都道府県別では新潟県 (5.5)、千葉県 (4.7)、群馬県 (4.7)、富山県 (4.7) などからの報告が多い。咽頭結膜熱と手足口病の定点当たり報告数は、引き続き例年と同様夏の増加を続けている。都道府県別では前者が滋賀県 (0.6)、鳥取県 (0.5)、愛媛県 (0.5) から、後者が神奈川県 (4.4) からの報告が多い。水痘は定点当たり報告数が最近減少しているが、都道府県別では福島県 (5.0)、宮城県 (3.4) と多い地域が残っている。インフルエンザの定点当たり報告数は順調に減少しているが、都道府県別では沖縄県 (3.1) からの報告が多い。流行性耳下腺炎と流行性角結膜炎は定点当たり報告数に大きな変化はないが、都道府県別で前者が岩手県 (4.9) と山形県 (4.2) で多く、後者は群馬県 (5.9) で増加が見られる。麻疹と風疹の定点当たり報告数は、全体としては例年より低い水準を保っているが、都道府県別で前者は岐阜県 (0.5)、青森県 (0.5) から、後者は福岡県 (0.2)、岡山県 (0.2) からの報告が依然として多い。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センター - のホ - ムペ - ジ

(<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県感染症情報

2002年第1週～第28週(平成13年12月31日～平成14年7月14日)(累計)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	191	182	35	51	13	35,688	298	4,595	23,359	8,305	3,184	1,517	3,398	43	93	3,647	1,954	5,578	11	583	0	2	2	54	1	21
総数 (名古屋市は除く)	121	112	24	37	12	28,055	198	3,239	15,726	6,237	1,973	1,165	2,595	25	64	3,087	1,543	4,615	8	415	0	2	2	54	1	21
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1	7,633	100	1,356	7,633	2,068	1,211	352	803	18	29	560	411	963	3	168					
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	2,301	35	470	1,075	396	383	25	141		6	65	80	323	1	14					
海部津島	津島	7	7	2	2	1	1,229	3	54	1,060	362	58	90	113	1	7	214	71	248	1	24			2		
尾張中部	師勝	4	4	1	1		794		20	1,196	100	31	19	57		6	80	29	19	1	13					
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	2,068	9	372	2,289	680	156	68	319	3	3	160	220	279	1	27					
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	1,955	9	370	783	748	191	132	209	3	6	102	131	201		24		1		2	5
	江南	6	6	1	2		1,780	38	332	1,480	418	80	89	66	1	5	145	65	191		20					
知多半島	半田	6	6	1	2	1	1,319	13	92	492	235	80	194	115		2	47	131	187		12			1		12
	知多	7	7	2	2		2,383	31	97	939	391	241	82	202	3	7	298	223	192		12					
西三河南部	岡崎	12	8	2	3	1	2,984	11	337	110	775	221	138	394	4	2	377	68	688		111					
	衣浦東部	11	11	2	4	1	3,475	7	269	1,007	644	116	88	247	4	7	376	198	239	1	17			1		
	西尾	4	4	1	1	1	281	4	56	458	201	11	13	57		3	127	18	102	1	54			1	3	
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	1,416	14	146	839	339	162	63	168	4	7	190	97	555		31		2	18		
	加茂	3	3		1		366	1	23	287	86	57	9	61			16	38	197							
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	3,013	13	417	2,074	498	77	67	254		1	397	72	687	1	54		1	23		
	豊川	9	8	1	2	1	2,557	10	183	1,637	317	100	84	188	2	1	478	94	432	1	2			6	1	1
東三河北部	新城	2	2			1	134		1		47	9	4	4		1	15	8	75							

